

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月30日(18:00~18:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 信田・花島・小柳・三須・久下・木村・大竹・栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	人	人	8人

前回の改善計画	利用開始までに必要な情報をわかり次第発信し知り得た情報を、LINEWORKの活用し写真等を使いわかりやすく情報発信し職員間の情報共有・コミュニケーションを図っていけるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始までに必要な情報をわかり次第発信し知り得た情報を、LINEWORKの活用し情報共有が行うことが出来てきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	7			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス提供を通して気づけた点やご様子について職員間で情報を写真や動画等でわかりやすく共有することでご本人やご家族のニーズに応えられるようにして個々の支援につなげている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個々の認知症によるBPSD等に応じた身体的・精神的な状況に適した支援を、ケアプランと連動行うことがまだ不十分となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始までに必要な情報をわかりやすく写真等を活用していく共に、ケアプランも作成都度に職員間で回覧して確認し情報共有して個々の支援に取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月31日 (12:30~13:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 信田・花島・小柳・三須・久下・木村・大竹・栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	人	人	8人

前回の改善計画	泊まり・通い・訪問での対話を通して、希望や思いを汲み取りご家族の意向を確認しながら希望が叶えられるよう職員一人一人が意識していく。情報発信後、実施後の評価と次の対応に向けての課題などその都度、情報更新を個々でも行えるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人から発せられる言葉、表情・行動等から、可能な限り思いを汲み取れるよう安心感を与える声色や声掛けを意識し、意思表示を助けられる様に取り組みました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	1		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	1		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	1		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		8			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者の「地域で生活したい・家族に迷惑をかけたくない」という、心の奥深くで働く、心の動きを十分に汲み取りその都度、気になることや行いたいことなどを聞き取り希望に添えるように支援してきている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人との直接的な対話や観察から得られた情報をもとに対応しているが支援の基底となる目標設定が曖昧になってしまいとなってしまうことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 対話を通して、希望や思いを汲み取りご家族の意向を確認しながら希望が叶えられるように職員一人一人がご利用者個々の機微に触れることができるように意識していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月31日 (12:00~12:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 信田・花島・小柳・三須・久下・木村・大竹・栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	人	人	8人

前回の改善計画	日々の関わりの中で本人・家族から情報収集し、本人らしく生活できるように支援していく チームで情報共有・情報伝達をスムーズに行えるようコミュニケーションツールも活用し同じ意識を持つ努力をする
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人らしく充実して過ごせるよう、気がついたことはブルーアクション等ツールも活用しながら、情報共有・伝達に取組みました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		7		1	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		8			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	1		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	7			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		8			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 食事・排せつ・入浴等について、ご本人のその日の様子や体調面に配慮しながらサポートを行い、気分や体調の変化に気づいた際には都度情報共有し、迅速に対応できるように努めるとともに、ご家族に電話やメールで報告し支援を行なっている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 個々の「以前の暮らし方」や訪問のサービスが中心の方などの情報が少なくあまり把握ができていない部分もあり、声にならない声の言語化にチームレベルでの取り組みに至っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人や家族から情報収集したことは職員個々で抱えてしまうのではなく、LINEWORKS等のコミュニケーションツールを活用して情報共有してしていく共に、情報が投げばなしになっていないか、逆に受け取り損ねたものはないか、意識しながらチーム全体で共有の認識のもとケアができるように取り組んでいきます。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月22日(17:00~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 信田・花島・小柳・三須・久下・木村・大竹・栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	1人	1人	8人

前回の改善計画	事業所のご利用者さんの作品展の開催を通して活動を知ってもらう 事業所内での各日常生活圏域の地域資源マップの作成を行い、利用者の暮らしに必要な地域資源を活用していく 地域自治会会報への掲載・発行へ協力の継続
前回の改善計画に対する取組み結果	ステーションギャラリーにて作品展開催をし、活動を知ってもらうことは出来ているが地域資源マップの作成へは至っていない。地域自治会の会報への発行協力は継続している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8			8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8			8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8			8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7		1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人と家族の地域との関係が切れないように支援できている かかりつけ医・薬局と情報を共有し信頼関係が築けている 職員で情報の共有が出来ている
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍においてご家族・介護者とご本人の関係性と実感的には把握できていることも少なく、地域資源等をあまり把握できていないことで生活全体のトータル的な支援へには至れていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 在宅生活で何に困っているのか、それに対する地域資源の活用には何が考えられるのかといった点と意識し、地域資源マップの作成をおこない地域での暮らしを支援していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月22日(17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 信田・花島・小柳・三須・久下・木村・大竹・栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	人	人	8人

前回の改善計画	各種ソフトの活用を行い、円滑な情報共有をできるようにする共に口頭での報告・連絡・相談も併用して個別の状況把握に努め必要であれば多職種と連携し適切に支援できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	適切な支援、円滑な情報共有ができるようブルーシート・LINEWORKS等を活用し情報共有に努めることができた。また、口頭での報連相についても意識的に取り組めてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7	1		8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること サービス提供の中で、ご利用者がどのように過ごされたいか、どうしたら心地よく過ごせるかを意識して取り組んでいる。日々の関わりや記録・本人の状態から変化に気づけるように普段様子も情報共有し柔軟なしえんを心がけ家族と密に連絡を取り合っている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「いつも通り・変わらない」についてもわかるように普段の様子や言動等も記録に記載していくことで情報収集を行なう事までには至れず地域資源を使っての支援までは出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 目で見えてわかる体重増減や排泄などに関する様子など普段と異なる部分の記録記載からその日の様子から察する事の出来る状態(お話しがしたそう・あまり元気がない・声のトーンや表情など)なども記録に記載し、どの職員でも変化に気づけるよう情報収集及び共有し支援していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 30日 (13:30~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 花島、三須、久下、小柳、栗原、信田、大竹、木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	0人	8人

前回の改善計画	自治会等の地域イベントに積極的に参加していく。地域イベントに関して情報不足のところがあるので、地域の方々から情報を得て参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナの影響でイベントの中止が多く参加出来ていないが、駅前掃除に参加し地域の方とお話する機会があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		8			8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	7			8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		7		1	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		6	2		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 電話等も活用し他事業所との連携、協働を必要に応じて行えている。 コロナの影響で地域のイベント・活動の中止が多い中、朝清掃等継続されているイベントには、参加出来ており、登録者以外の高齢者とも交流を図る機会があった。 登録者以外の高齢者の訪問（同じD棟の方からの利用相談など）がある他、地域住民の方が車を借りて来苑する事もあった。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 登録外の高齢者や子供等の来苑は、固定の方々になってしまう傾向がある。 コロナ禍でイベントの中止も多く、地域住民との交流の機会も限られてしまっている。 また、地域住民としても日常的に出入りしている場所以外には入りづらい心情があるのではないかと考えられる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 自治会等の地域のイベントの積極的に参加していく。 地域の方から身近にある親しみやすい施設になれる様コミュニケーションを図っていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 30日 (14:00~14:30)

7. 運営

メンバー 花島、三須、久下、小柳、栗原、信田、大竹、木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	1人	人	8人

前回の改善計画	事業所がよくなるように職員一人一人意見を持ち、話し合っ行ってけるように事前に会議資料を配り、各職員出来るだけ早め読み込んで、自分の意見をまとめて会議に参加していく。参加が難しい場合は意見等メモにして参加職員に提出していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	LINWORKS を活用して、事前に会議資料を共有し意見等を整理したうえで会議に臨みやすいよう工夫できている。 業務のタイミング等によっては資料の読み込むまでが困難な場合もあるほか、オンライン会議のため、意見の真意が伝わりづらいと感じる時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		7	1		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	1		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		7	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者、ご家族等からいただいた意見や苦情は事務所内で共有し、真摯に受け止め、再発防止や今後の改善に努めることができている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 必ずしも職員一人ひとりが事業所のあり方について意見を持ち、発信することができていない。 (理由) 担当する業務が限定的な職員の場合、事業所全体としての視点を持つことが難しい。 また、業務の時間配分がうまくできず、じっくりと資料を読んで熟慮することができていないため。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事業所全体としての視点を持ち、事業所が良くなるように、職員一人ひとりが意見をもち会議で発言しやすいようにしていく。業務の時間の配分がうまくいかない時は、他職員に声掛けを行い協力し業務を行っていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月24日(13:00~13:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 花島、三須、久下、小柳、栗原、信田、大竹、木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	人	人	8人

前回の改善計画	研修先で配布されたレジメや資料等、ラインワークスを活用し、いつでも閲覧できるようにして職員間で共有を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	LINWORKSを通して、研修資料や新規利用者の既往現病資料等を職員間で共有し、支援に活かせるよう取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7			8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	7			8
③	地域連絡会に参加していますか	2	5	1		8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議前後に職場内研修を実施することで、共通の知識「見る目」を養う等、スキルアップに取り組んでいる。リスクマネジメント委員会の設置、ヒヤリハットの報告・分析が実施され、リスクマネジメントの強化に取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修について会議前後に行われたり、オンライン研修があり参加しやすくなった為スキルアップできる環境は整えられているため出来ない点が特にない。 地域連絡会について参加しているが、職員によっては参加しているか分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修に参加しスキルアップに努めていく、研修で配布されたレジメや資料をLINWORKSにあげ、職員間で共有を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 24 日 (13 : 30~14 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 花島、三須、久下、小柳、栗原、信田、大竹、木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8 人	人	人	8 人

前回の改善計画	会話や電話対応の際、声の大きさ・話をする場所に配慮して、難聴の方に対して必要時筆談を用いて、プライバシーや個人情報の保護できるよう努めていく
前回の改善計画に対する取組み結果	声量の調整や筆談、ジェスチャー等を用いて、話の内容が利用者に伝わりやすいよう取り組んでいる。また、家族や金銭などの配慮の必要な話題の際は声の大きさや場所にも気を付けることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8				8
②	虐待は行われていない	8				8
③	プライバシーが守られている	3	5			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	1		8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	7			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 不穏時なども決して拘束することなく、声かけや楽しい話題の提案、状況の振り返り等を行い、利用者の思いの汲み取りや尊重を意識しながら取り組んでいる。 身体拘束や虐待は行われておらず、必要に応じて成年後見制度の活用も出来ている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 時折 ipad が利用者の目に入ってしまう位置に置かれている事があり、Blue Ocean や LINEWORKS の内容が見えてしまう可能性がある。 サテライトの空間が一間で広くないため、支援内容や電話の会話等が他の利用者の耳に入ってしまう事がある。ただし、利用者名を伏せる等、工夫は行われている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 会話や電話対応の際、声の大きさ話をする場所に配慮し内容が分からない様に工夫していく。 難聴の方に対して必要な時、筆談などを用いてプライバシーや個人情報の保護が出来るよう努めていく。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠燿会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	本体事業所（小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台）とサテライト型事業所（小規模多機能型居宅介護サテライトグリーンヒル勝田台）一体的なサービスを提供することでご利用される方々が安心して身近な地域でサービスを利用し、馴染みの地域や関係を断ち切らず生活を送れるように支援していきたいと考えています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル 勝田台	管理者	大竹 暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自立支援を意識した支援を行なうために、より一層のPDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図る取り組みを推進しケアプランに取り入れたサービスを提供していく。今後も医療機関との連携、職員同士声掛けを行ない、又LINEWORKSを活用して情報共有に努め利用者の支援につなげていく。	ケアの質の向上を図るため、ケアプランの見直しや自立支援を意識した支援を行なっている。LINEWORKSを活用し、情報を共有して利用者の支援を行なっている。	職員間の情報共有ツールLINEWORKSを活用して行っており適切な支援に繋がっている事が分かりました。改善計画も立てられていますが、何についてしっかり取り組みをするか具体的に掲げたほうが良いのでは。とても高い目標かとは思いますが出来る事から・・・	住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう利用者の能力や希望や目的に合わせて多職種多様な手段で総合的な支援を行なっていく。今後も医療機関と連携、職員同士の情報共有に努め、利用者を支援していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節感を取り入れた飾りつけを行ない、ご利用者や来客者に対して、居心地の良い明るい、気持ちの良い環境作りを行っていきと共に、消毒等の感染症対策の徹底に努める。	季節ごとにルーム内や玄関など飾りつけを行ない、季節感を出している。室内の環境を整え、アクリルボードの利用や消毒など感染対策を徹底している。	居心地の良い環境は、利用者の笑顔から感じることが出来ます。突然の訪問でも変わらない対応をして頂いております。玄関のドアをカラフルにして、採光ガラスを取り付ける等工夫をしている。尚、事務所に隣接する共用トイレは改修工事により、臭気は解消され、事務所の環境も大幅に改善された。	季節を感じられる製作を利用者と協働し、安心できる環境作りを行っていき。感染症対策を徹底しながら、室内環境の安定を図る。
C. 事業所と地域のかかわり	サコボゴミ拾いや地域主催イベントに参加して、地域住民と顔なじみの関係に慣れるようにしていく。作品展開催や自治会会報への掲載や発行を行っていき。利用者の困りごとや相談、地域資源など地域包括支援センターと連携を取り関わっていく。	駅前清掃の参加や自治会会報の編集や発行など継続して行なっている。利用者の困りごとや相談など訪問時や職員間の情報共有で支援している。	貴事業所とは、自治会・管理組合等の事業、イベントがコロナ禍にて実施出来ない状況ながら、駅前美化運動に参加、更に自治会会報の編集・発行に多大な支援を頂いている。今後とも、高齢化が進んでいる自治会等の組織活動にご支援、ご協力を期待している。	サコボ 勝田台自治会と共に環境美化活動や地域主催イベントに出来る限り参加していく。作品展の開催や自治会会報への発行を継続していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者の暮らしの支援として自治会に参加し、緊急時の協力関係を構築、体制を整えていくため、地域の方々や公民館などと協力して新たな形のサークル活動など模索し、実施して地域共生社会の一端を担っていく。	ご近所の方々や自治会に挨拶や声掛けして緊急時など協力して頂いている。	地域資源マップの作成があげられましたが、地域包括センターでmapを作成しております。是非声をかけて頂き連携ができればと思います。	地域包括支援センター作成の資源マップを活用し、利用者の暮らしの支援として、自治会に参加し、地域の状況を理解していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	新たな形での運営推進会議の開催方法を検討し、事業所の取り組みを報告していく。地域包括支援センターや関係機関と協働して「住みやすい勝田台」につなげていけるよう取り組んでいく。職員会議の司会者具体的な答えやすい質問を行うなどして職員が意見など出しやすい環境づくりに取り組んでいく。	LINEWORKSの活用で利用者情報や地域での情報を共有出来、具体的な質問等も答えることが出来ている。	事例検討を実施される事を提案したい。会議参加者に地域関係者も出席されている事から、事例を通して地域課題がみえてくる事もあります。その課題が地域づくりへと広げていく事が出来ると思います。年1～2例の検討が出来るが良い。運営推進会議で提案、議論された課題を改善に意欲的に取り入れられた。	運営推進会議を開催し、事業所の取り組みを報告していく。事例検討を5月・11月に実施し、地域課題について、地域包括支援センターや関係機関と協働して改善に努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練、避難訓練や講演会に参加して、職員の意識を高めていく。引き続き防災訓練へ管理組合及び管理事務所に参加して頂き実施する。自治会や地域包括支援センターと連携を大切にしながら災害時等に活かせる取り組みを行っていき	コロナ禍において地域の防災訓練や講演会は中止となっている。事業所内の消防訓練や避難訓練など管理事務所の協力を得て、年3回実施している。	事業所はBCPの作成を義務づけられるようになりますが、地域の方々の声も取り入れながら関係機関と連携を大切に事業所が担う役割を職員間で共有し会議のメンバーにも発信して頂き共有し、協力が出来たらと思います。自治会防災会の防災訓練はコロナのため中止になった。尚、事務所に於ける独自の防災訓練に関しては、隣接のマシオン管理事務所の協力を得て実施している。	BCPの作成の際、地域の方々の声を取り入れながら関係機関と連携し、引き続き防災訓練へ管理組合及び管理事務所に参加して頂き実施していく。また防災物品の確認を行なっていく。